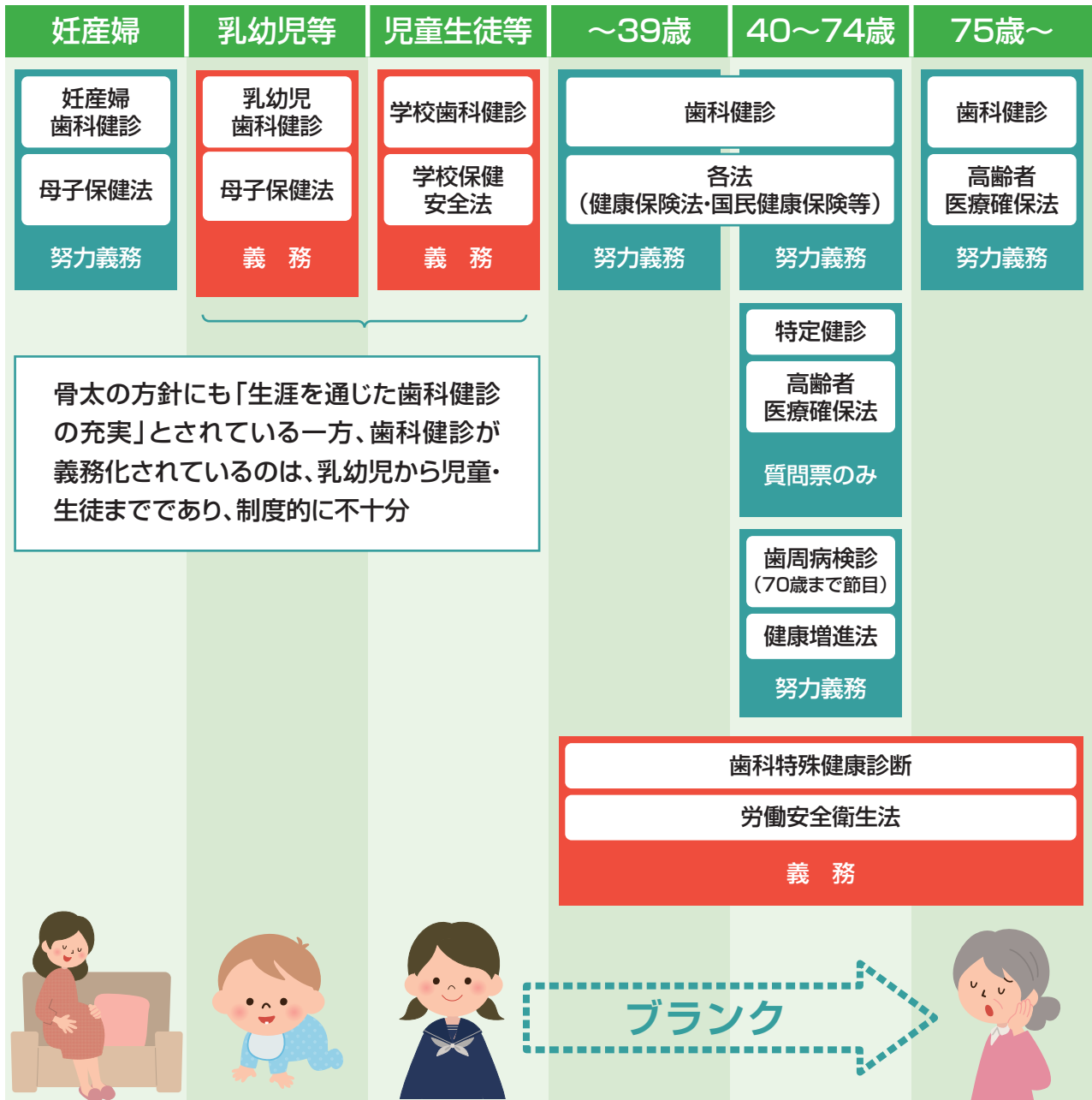


# 最近、歯医者さんに行ってますか？

## 歯医者さんにいつ行きましたか？

あなたが歯科健診を受けたのは下図のどこですか

### 生涯にわたる歯科健診の充実～現在の歯科健診の制度



# 『健康』の後悔トップ10

55~74歳  
後悔

第1位

283pt



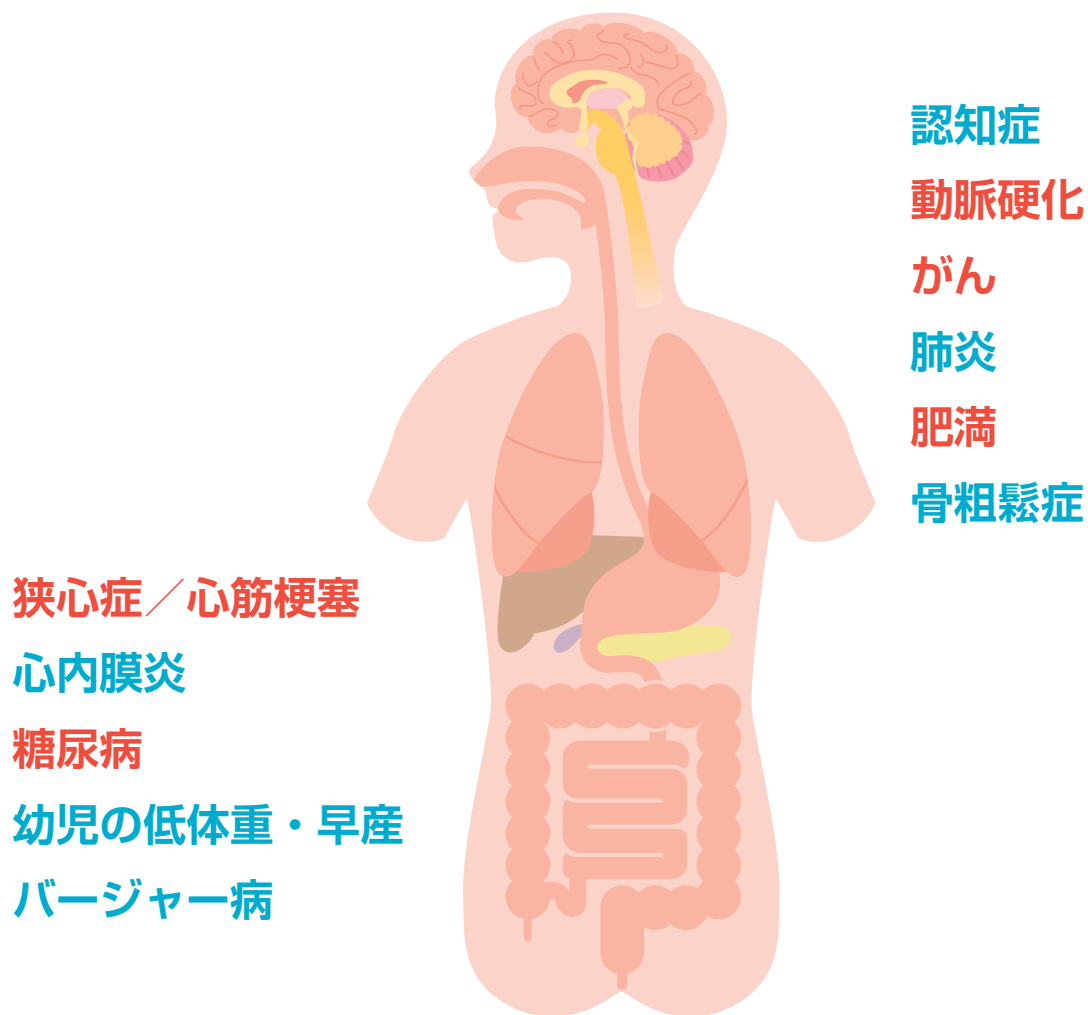
歯の定期検診を  
受ければよかった

第2位	スポーツなどで体を鍛えればよかった	244pt
第3位	日頃からよく歩けばよかった	234pt
第4位	腹八分目を守り、暴飲暴食をしなければよかった	210pt
第5位	間食を控えればよかった	167pt
第6位	頭髪の手入れをすればよかった	150pt
第7位	たばこをやめればよかった	122pt
第8位	ストレスの解消法を見つけておけばよかった	121pt
第9位	よく笑い、くよくよ悩まず過ごせばよかった	117pt
第10位	不規則な生活をしなければよかった	109pt

出典：gooリサーチとプレジデント編集部の共同調査により、「人生の振り返り」に関するアンケート  
2012.9.25~27 55~74歳の男女1060名の回答より

# 歯周病とからだの病気

歯周病がさまざまな病気にかかわっていることがわかっています



病名の赤は生活習慣病、青はそれ以外



歯周病は歯を失う大きな原因！  
歯は食べ物が初めて出会う「消化器官」  
歯周病で歯を失うと、からだ全体に大きな影響が及びます

# 8020運動とは？

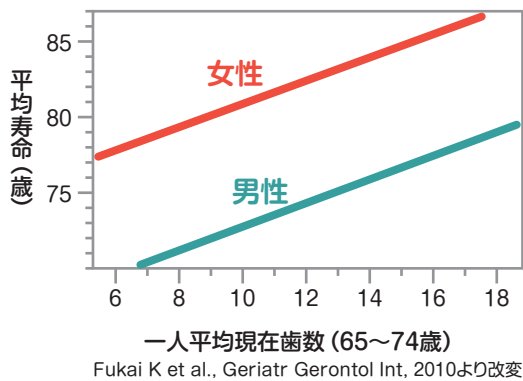
「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われています

## 健康な身体は歯と口腔の健康から

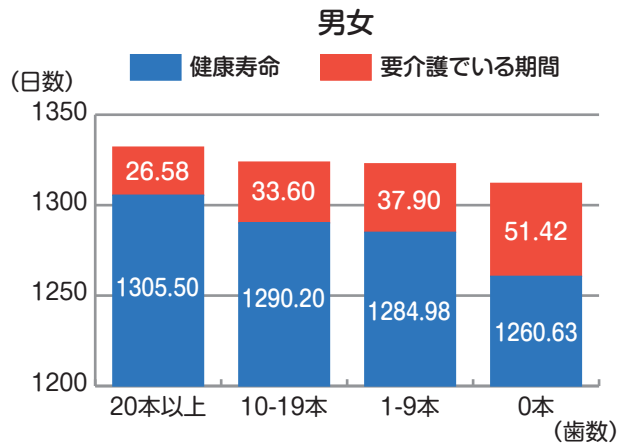
### ■ 歯数と平均寿命・健康寿命

自身の歯が多い人は、寿命・健康寿命が長く、要介護でいる期間が短い

歯数と平均寿命の関係



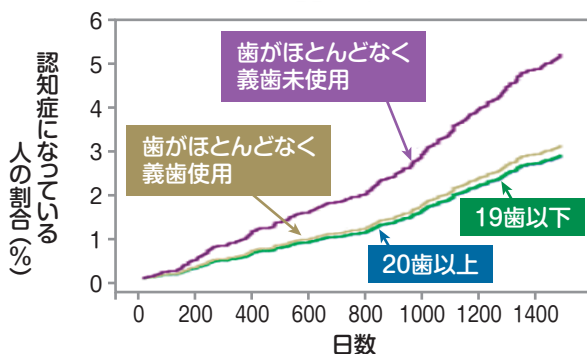
歯数と健康寿命



## 噛むことが認知症予防につながる

### ■ 歯数・義歯使用と認知症発症との関係

歯を失い、義歯を使用していない場合、認知症発症リスクが最大1.9倍に



65歳以上の健常者を対象として、歯と義歯の状況を質問紙調査し、その後4年間、認知症の認定状況を追跡 (n=4,425名) した。年齢、疾患の有無や生活習慣等に関わらず (年齢、所得、BMI、治療中疾患、飲酒、運動、物忘れの自覚の有無を調査済み) 歯が殆ど無く義歯を使用していない人は、20本以上歯を有する人と比較して、認知症発生のリスクが高くなることが示された。

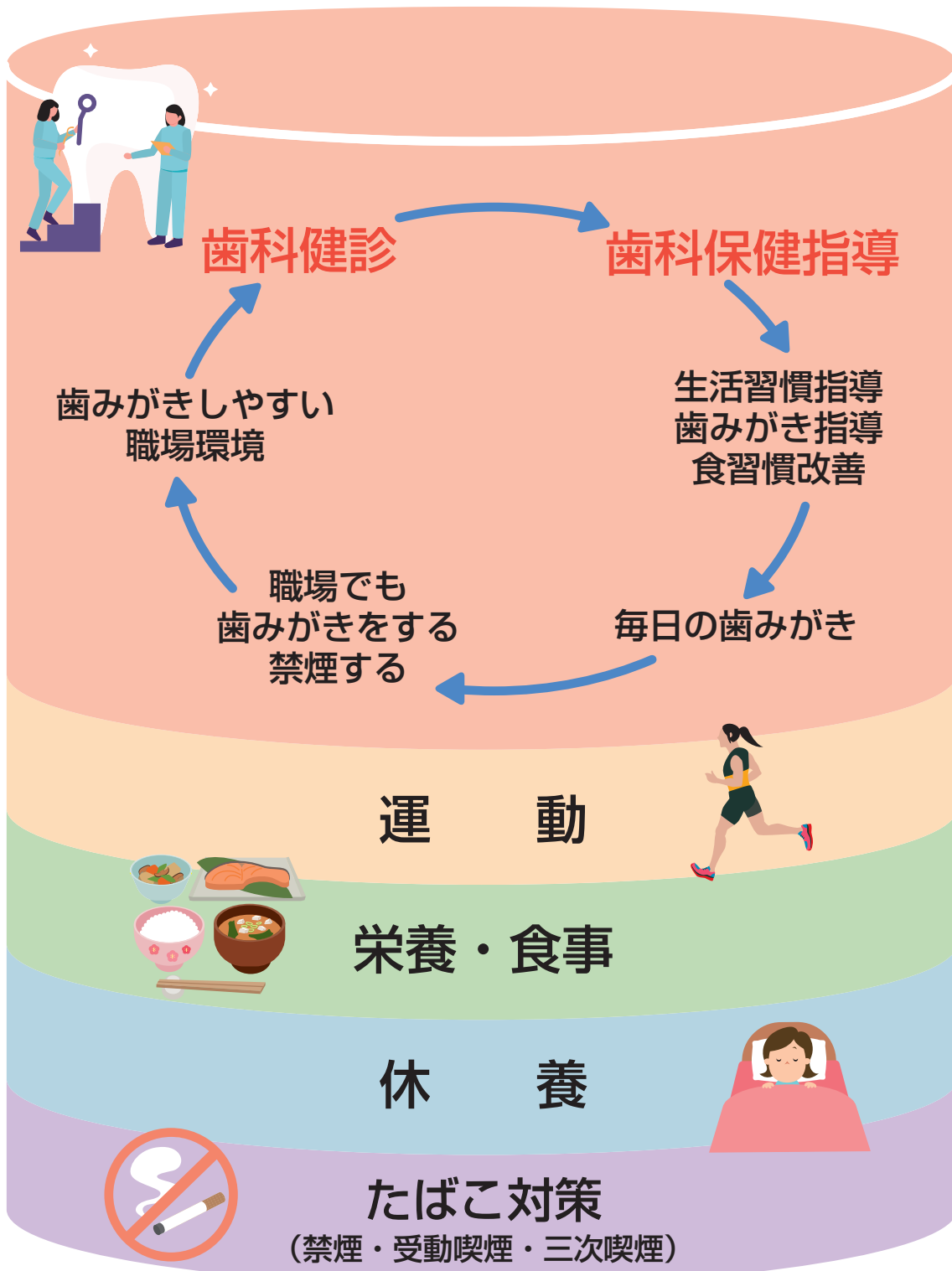
yamamoto et al., Psychosomatic Medicine. 2012

# 口腔健康管理が健康寿命をのばす！



口腔健康管理は一生涯

# 確かな歯みがきから始める健康習慣



# これからは生涯現役社会

一人一人が心身の健康状態に応じて経済活動や社会活動に参画し、役割を持ち続けることのできる「生涯現役社会」

## 健康経営って？

### 歯科から見た健康経営

セルフチェック・歯科健診・歯科保健指導

健康意識の向上・行動変容

全身の健康の保持増進

健康トラブルによる休業等の減少

仕事への満足度の向上

医療費の減少

離職率の低下

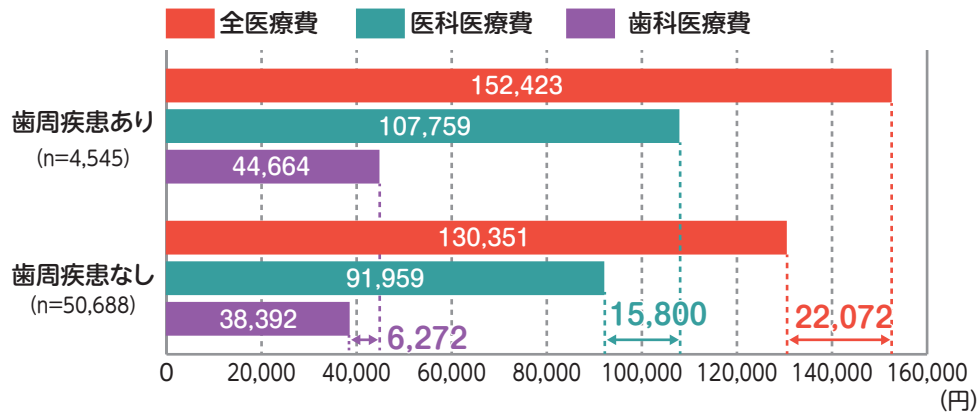
業績向上

持続的成長

# 口腔健康管理の効果！

## ■ 歯周疾患の有無による年間医療費の比較

対象：全被保険者（55,233人）

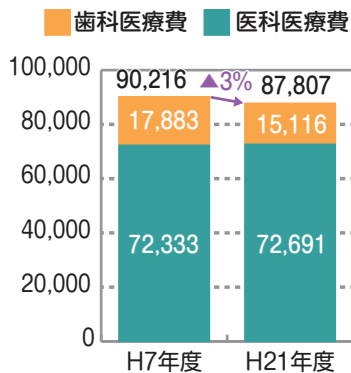


全医療費差22,072円の内訳は、医科15,800円+歯科6,272円

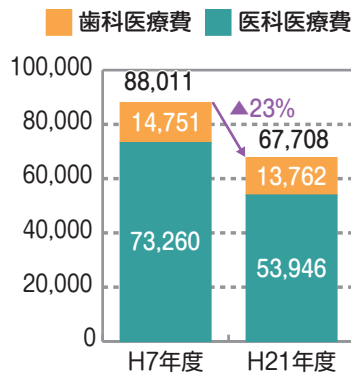
デンソー健康保険組合「歯科・医科医療費の相関分析」一部改変

## ■ 歯科健診を行った集団と行わなかった集団の医療費の推移

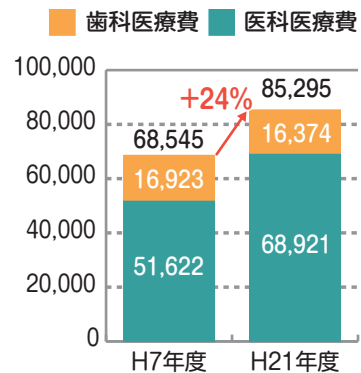
A社（定期歯科健診実施）



B社（定期歯科健診実施）



C社（歯科健診任意受診）



歯科健診を行った事業所は年間医科歯科医療費が減少  
 一方、行わなかった事業所では医療費が大幅に増加

デンソー健康保険組合「歯科・医科医療費の相関分析」一部改変

効果：定期的な歯科健診受診は体の健康維持（体のQOL向上）に寄与